

きゅうりの栽培

佐渡農業普及指導センター

1 栽培のスケジュール

月	5			6			7			8			9			10			主要品種
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
露地	△			△														シャープ1、夏秋節成2号、南極2号、夏すずみ	

【栽培のポイント】

- ◆ウリ科作物(かぼちゃ、すいか、メロン等)の連作は避けましょう。
- ◆葉が重なり合うと通風が悪くなり、病気が発生しやすくなる上、果形が乱れるため、葉の間引きと側枝の摘心を行いましょ。
- ◆肥料切れさせないようにしましょ。
- ◆しきわら等で乾燥を防ぎましょ。

2 定植

(1) 本畑の準備

【畦立て・マルチ】

◆栽植密度

2条植え：畦巾200cm、株間45cm、条間80cm

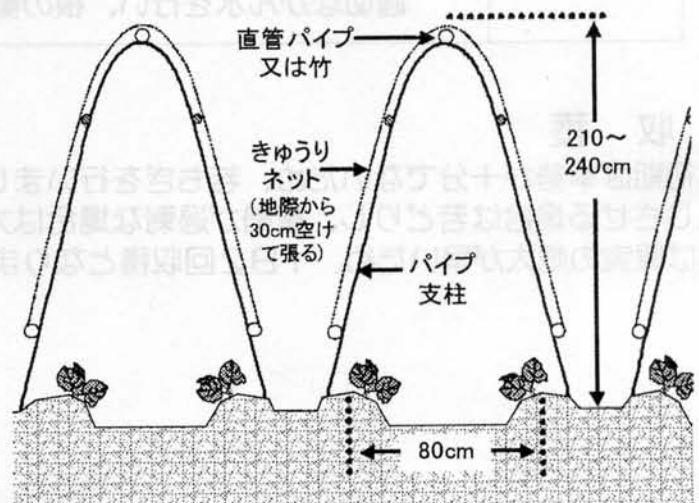
◆早めにマルチをはり、地温を高くして苗を定植します。畦は高畦とします。

【施肥例(kg/1アール)】

肥料名	基肥	追肥			成分			追肥時期の目安
		①	②	③	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
完熟堆肥	200							追肥は収穫開始後、草勢を見ながら行いましょう。雌花の色が淡くなったり、芯が弱くなったら追肥を行います。
DL消石灰	10							
そさい配合特1	20				1.6	1.6	1.6	
ようりん	5					1.0		
NK化成E989		4	4	4	2.2		2.2	
合計					3.8	2.6	3.8	

(2) 定植

- ・本葉3枚位展開した、若い苗を植えましょ。
- ・定植後、パイプや竹等で早めに支柱を立て、針金(またはマイカー線)を張り、地際から30cm空けてきゅうりネットを張ってやります。

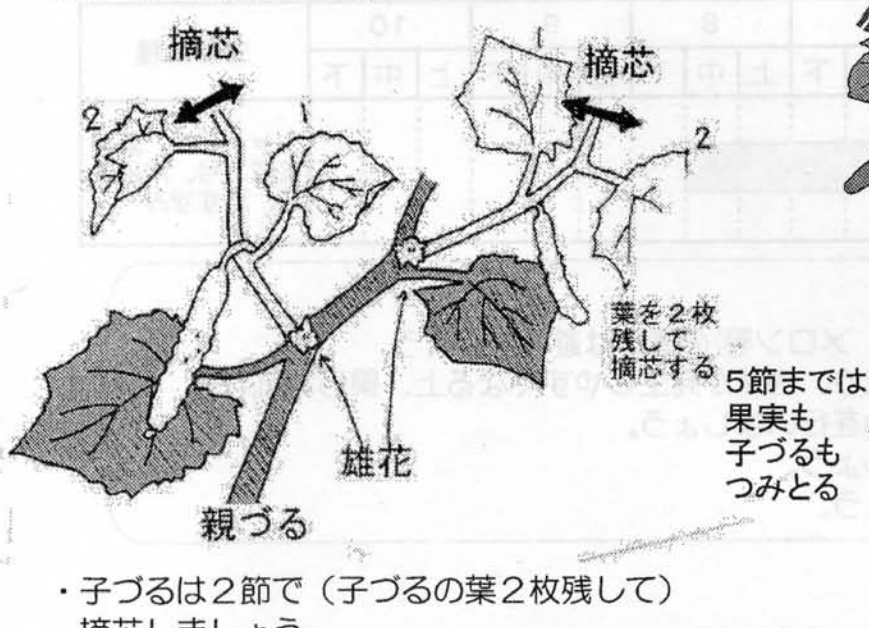


3 定植後の管理

(1) 整枝

地際から30cm（節数で5節程度）までの子づる、果実はすべて取り除きましょう。

(2) 剪定・摘芯・古葉かき



- ・子づるは2節で（子づるの葉2枚残して）摘芯しましょう。
- ・子づるが弱い場合は、中段の子づるを1本放任し、伸ばしてやりましょう。
- ・過繁茂となった場合は適宜間引き整枝や、下に垂れ下がった枝を除去してやります。
- ・一度に作業を行うと、草勢が低下するので注意しましょう。

(3) しきわら

梅雨時期にはマルチを寄せてしきわらを行うか、又はマルチの上からしきわらを行い、乾燥防止や地温の低下を図りましょう。

(4) 出やすい生理障害

くくれ果 (くびれ果)	高温乾燥や低温多湿、多肥、石灰不足などからくる、花芽の分化発育中の障害と考えられています。 →肥料要素のバランスをとりましょう
曲がり果	乾燥や肥切れ、かん水の不適切で生育が弱り、発生します。 →葉かきや整枝等で受光体制を良くしてやりましょう。 適切なかん水を行い、根の働きを良くするようにしましょう。

4 収穫

初期は草勢が十分でないため、若もぎを行いましょう。また、草勢が低下し、成り疲れを感じさせる場合は若どりし、草勢が過剰な場合は大きめでとるようにしましょう。6～8月期は果実の肥大が早いため、1日2回収穫となります。

キュウリ

《殺虫剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用害虫							
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	ネコフセ ンチュウ	アブラム シ類	コナラ ミ類	アサミ マ類	ウリノ イカ	ハダニ 類	その他	
有機リン	ネマトリンエース粒剤	3,601 ／5kg	20kg	播種前又は 定植前	1	1	○							
有機リン	オルトラン粒剤	745 ／1kg	1～2g/株	定植時又は 前日まで	3	1		○	○	○				
ネオニコチノイド	アドマイヤー1%粒剤	1,186 ／950g	1～2g/株	定植時	1	1		○	○ 2g/株	○				
ピレスロイド	アーデント水和剤	955 ／100g	1000倍	前日まで	4	1		○	○	○		○		
ピレスロイド	★アグロスリン乳剤	997 ／100ml	1000～ 2000倍	7日前まで	5	1		○	○					トマトハモグリハエ 1000倍
その他	★コテツフロアブル	2,257 ／100ml	2000倍	21日前まで	2	1				○	○	○		
その他	★サンマイルフロアブル	1,417 ／100ml	1000～ 1500倍	前日まで	2	1		○	○				○	うどんこ病
有機リン	スミチオン乳剤	378 ／100ml	2000倍	前日まで	5	1			○ 1000～ 2000倍		○ 1000倍			
ネオニコチノイド	モスピラン水溶剤	1,764 ／100g	2000倍	前日まで	3	1			○	○	○			

《殺菌剤》

剤系	予防・ 治療効果	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				主な適用病害						
				濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	うどん こ病	灰色 かび病	べと病	褐斑病	炭疽病	菌核病	その他
ストロビルリン	予・治	アミスター20フロアブル	3,759 ／250ml	1500～2000 倍	前日まで	4	1	○ 1500～ 2000倍	○ 1500倍	○ 1500～ 2000倍	○ 2000倍	○ 2000倍	○ 1500倍	
その他	予	ジマンダイセン水和剤	598 ／250g	600～ 800倍	前日まで	3	1			○	○ 600倍	○ 600倍		疫病 つる枯病 (ともに600倍)
有機塩素	予	ダコニール1000 フロアブル	913 ／250ml	1000倍	前日まで	8	1	○	○	○	○	○		黒星病
その他	予	トップジンM水和剤	1,207 ／250g	1500～ 2000倍	前日まで	5	1	○	○			○	○	黒星病 つる枯病
その他	予	ヘルコート水和剤	850 ／100g	2000～ 4000倍	前日まで	5	1	○	○		○ 2000倍	○		
その他	予・治	ホリオキシAL水和剤	451 ／100g	1000倍	前日まで	3	1	○						

《除草剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農薬使用基準				適用
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	
アミノ酸	パスタ液剤	2,047 ／500ml	300～ 500ml	収穫前日まで	3	1	定植前又畦間処理、但し収穫前日

★印は毒劇物農薬です。購入時には印鑑が必要となります。

※掲載価格は、平成22年3月現在の当用価格(税込)です。

※登録農薬は、平成22年3月現在の登録内容です。